

6. 原子力災害への対応

6. 原子力災害への対応

しました。当初は検査結果が出るまでに3日程度を要していましたが、国や県に対し毎日の検査と迅速化を強く要請した結果、平成23年3月30日からは毎日の検査と、検査結果の翌日公表が実現しました。さらに、平成23年10月3日以降は、県からゲルマニウム半導体検出器を借り受け、市が直接検査することにより、検査結果の即日公表が可能となりました。

なお、平成23年4月17日以降は、本市の水道水からは放射性ヨウ素及び放射性セシウムは検出されておませんが、継続して検査を実施し、安全・安心な水道水の供給に努めています。



コ. 飲用井戸水等の放射性物質検査

飲用井戸水等の検査を実施し、飲用水の安全確認を行っています。

【平成23年度】

- ・検査期間：平成23年8月29日から平成24年3月31日
- ・検査機器：NaIシンチレーションサーベイメータ
- ・検査場所：保健所検査課
- ・検査実績：981 件
- ・検査結果：全て不検出(検出下限値60Bq/L／暫定規制値200Bq/L)

【平成24年度】

- ・検査期間：平成24年4月1日から
- ・検査機器及び場所：Ge(ゲルマニウム)半導体検出器
- ・検査場所：保健所検査課
- ・検査実績：201 件
- ・検査結果：全て不検出(検出下限値1Bq/L／基準値10Bq/L)

【参考】

国の定める食品中の放射性セシウムの基準値(平成24年4月1日～)

食品等	基準値(Bq/kg)
一般食品(乳製品を含む)	100
乳児用食品	50
牛乳	50
飲料水	10

3. 放射線からの健康管理

自分がどのくらい放射線を受けているのか。また、健康に影響はないのか。原発事故以来、不安が広がりました。そんな不安を解消するために、積算線量計を貸し出しています。

また、市民の皆さんの健康管理を長期的に行うため、保健所内に放射線健康管理センターを設置しました。このセンターには、体内に存在する放射性物質を測定できるホールボディカウンターを設置し、内部被ばく検査を行います。

さらに、子どもたちの心や体のケアに取り組んでいます。

(1) 積算線量計による積算被ばく量測定

ア 積算線量計による外部被ばく量の測定

中学生以下の子どもたちを対象にバッジ式積算線量計を配付

15歳以上の市民や妊婦、市内高等学校等への通学者に対する電子式積算線量計を貸出

イ 対象者数

【平成23年度】

機器名	対象者	人数
バッジ式積算線量計	小中学生	約28,600人
	未就学児・妊婦	20,665人
	計	約49,265人

機器名	対象者	人数
電子式積算線量計	市内高等学校等への通学者	約12,000人
	15歳から18歳までの市外高等学校等への通学者	約2,000人
	15歳から18歳までの未就学者	約400人
	市内在住の19歳	約3,600人
	20歳以上の市民	約6,500人
	計	約24,500人

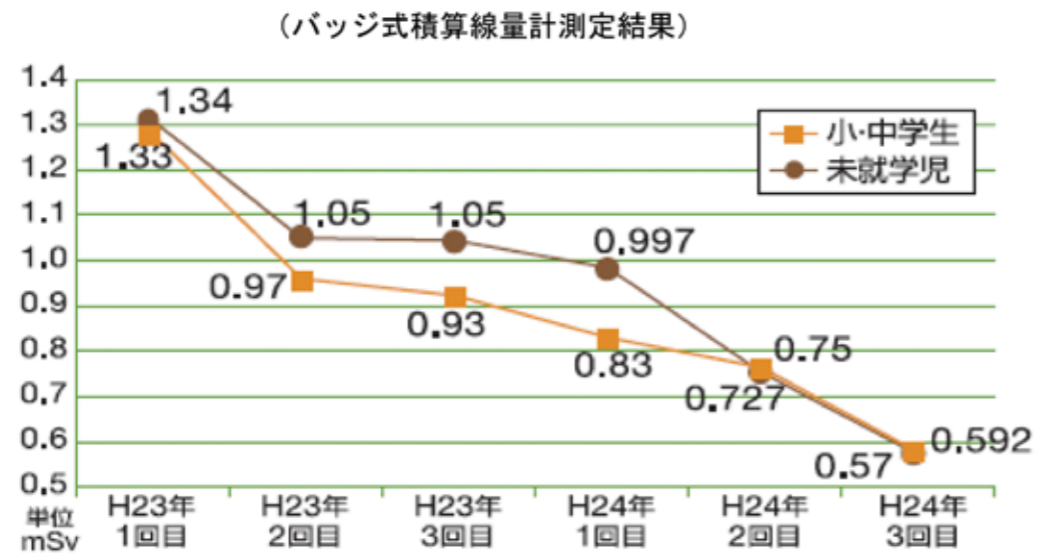
6. 原子力災害への対応

【平成24年度】

機器名	対象者	人数
バッジ式積算線量計	小中学生	約28,000人
	未就学児	約18,000人
	計	約46,000人

機器名	対象者	人数
電子式積算線量計	市内高等学校等への通学者	約12,000人
	15歳から18歳までの市外高等学校等への通学者	約2,000人
	15歳から18歳までの未就学者	約400人
	市内在住の19歳	約3,600人
	20歳以上の市民	約6,500人
	妊婦	約3,000人
	計	約27,500人

ウ バッジ式積算線量計測定結果の推移(平均値を1年間に換算)



6. 原子力災害への対応

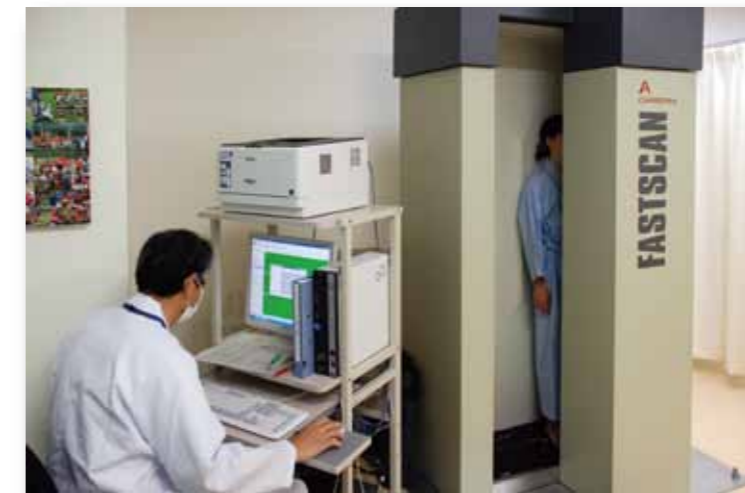
(2) 放射線健康管理センター

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査

検査開始時期	平成24年6月7日
場 所	郡山市保健所内
検査対象	全市民(妊婦・18歳までの子どもを優先的に実施)
設置台数	立立式1台、チェア式2台(10月25日よりチェア式1台増設)
その他	車載式及び日本原子力研究開発機構(茨城県東海村)において並行実施(福島県実施)

・これまでの検査結果

平成24年12月末までに約16,500人の検査を行い、福島県実施分と合わせて、約30,000人の検査を実施しており、結果が判明している方の生涯における体内から受けると思われる内部被ばく量は全員1mSv未満でした。



(3) 超音波検査機器による子どもの甲状腺検査

実施主体	公立大学法人福島県立医科大学
対象者	震災当時、0歳から18歳までの方を対象に実施
対象者数	約65,000人
検査時期等	平成24年10月1日から平成25年3月末までに実施予定

6. 原子力災害への対応

(4) 震災後子どものケアプロジェクト(震災後子どもの心のケアプロジェクト)

平成23年3月29日に郡山医師会など関係団体と連携して、「郡山市震災後子どもの心のケアプロジェクトチーム」を立ち上げ、子どもたちの心と体のケアに取り組んでいます。

また、平成24年8月11日に子どもたちが明るく健やかに成長するための環境づくりをより一層推進するため、名称を「郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム」に変更するとともに、組織体制の強化を図りました。

【これまでに実施した主な事業】

事業名	内容	実施時期等
子どものメンタルヘルスケア事業研修会	被災した子どものメンタルヘルスケア	平成23年 4・6月
元気なおおりのやま・キッズフェスタ	運動遊び、製作遊び、歌遊び、和太鼓、昔遊び等の活動	平成23年 5・8月
ニューイヤーズフェスタ	子どもたちのため、お正月イベントとして音楽・アート・食のイベント等の開催	平成24年 1月
震災後子どもの心のケアプロジェクト1周年記念フォーラム	講演会の開催 講師：柳田邦男氏、渡辺久子氏	平成24年 3月
春のキッズフェスタ	親子向けのイベント	平成24年 4月
夏のキッズフェスタ	親子向けのイベントと 医師等による相談会を開催	平成24年 8月
読み聞かせ研修会	講師：汐崎順子氏 対象：読み聞かせボランティア	平成24年10月
甲状腺を知ろう(講演会)	甲状腺についての講演会を開催 講師：百溪尚子氏	平成24年10月
読み聞かせ活動	読み聞かせグループによる 絵本等の読み聞かせ活動	震災直後から 現在まで継続



絵本の読み聞かせ

6. 原子力災害への対応



春のキッズフェスタ

(5) 郡山市元気な遊びのひろば「PEP Kids Koriyama」(ペップキッズこおりやま)

施設機能	大型遊具プレイゾーン、ボールプール、アスレチック・ランニングコース、屋内砂場、食育コーナー、セミナー室等
利用対象者	未就学児童、小学生とその保護者
開設時間等	10:00～18:00(第3水・木曜日及び年末年始休館) 1回1時間30分で入替制
設置場所	郡山市横塚一丁目1-3(旧ヨークベニマル管理倉庫)



ペップキッズこおりやま

6. 原子力災害への対応

6. 原子力災害への対応



ペップキッズこおりやま入館者30万人達成(平成24年10月4日)

(6) 林間学校・公共施設の開放

ア 郡山市湖南林間学校

事業内容	夏休み期間中、湖南地区での親子の宿泊体験活動 (水泳、ダンス教室、花火、星空観察、自然散策等)
実施時期	平成23年7月～8月(全3回)
対象	小学生とその保護者



湖南林間学校

イ のびのび!親子体験事業

事業内容	湖南地区での親子の宿泊体験活動 (少年湖畔の村の無料開放、体験プログラムの実施)
実施時期	平成24年4月1日～11月30日
対象	小中学生とその保護者や少年団体等

ウ わくわく!湖南移動教室

事業内容	湖南地区において全小学校が教育課程に位置づけた環境学習や 体験学習を実施(麓山登山、布引高原散策、風力発電見学、水生 物調査、民話学習、民俗・民具の見学、木工工作、ひまわりの栽培)
実施時期	平成24年5月18日～10月31日
対象	市立58小学校の全児童

エ のびのびちびっこ広場in夏出

事業内容	河内小学校旧夏出分校の体育館を子どもたちに無料開放
実施時期	[平成23年度] 平成23年8月6日～12月25日 [平成24年度] 平成24年4月25日～
対象	子どもたちとその保護者等

オ のびのび公民館サマースクール

事業内容	夏休み期間中、小中学生を対象に公民館を開放
実施時期	[平成23年度] 平成23年7月21日～8月24日 [平成24年度] 平成24年7月23日～8月24日
対象	小中学生等
場所等	[平成23年度] 36公民館(中央・安積・熱海公民館、清水台地域公民館を除く) [平成24年度] 38公民館(中央公民館、清水台地域公民館を除く)

カ 保育所・幼稚園等を対象とした公共施設の開放

事業内容	保育所や幼稚園等における活動の場の提供として市有施設を開放
実施時期	平成23年6月1日～
開放施設	カルチャーパーク体育館、ユラックス熱海、公民館、小中学校体育館、 地域交流センター等

6. 原子力災害への対応

6. 原子力災害への対応

キ 「みんなでジャンプ!遊びの広場」事業(大型遊具の巡回)

事業内容:大型遊具を公共施設に設置、開放



【平成23年度】

実施時期	平成23年11月～平成24年3月
実施期間 ／実施場所	平成23年11月23日・24日・30日 /ニコニコこども館 平成23年12月11日～16日 /東部地域子育て支援センター 平成23年12月19日～22日 /逢瀬コミュニティセンター 平成24年 1月 5日～ 9日 /カルチャーパーク 平成24年 3月19日～ 4月 1日 /ニコニコこども館

【平成24年度】

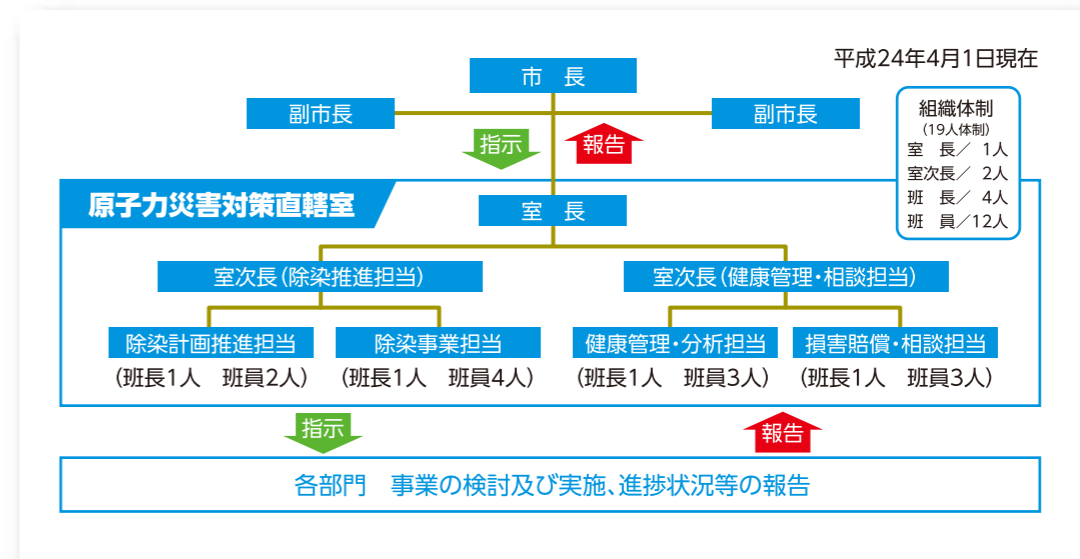
実施時期	平成24年 7月～平成25年 3月
実施期間 ／実施場所	平成24年 7月23日～27日 /西田ふれあいセンター 平成24年 8月 7日～12日 /田村公民館 平成24年 8月13日～16日 /富田西ふれあいセンター 平成24年 8月27日～31日 /安積総合学習センター 平成24年 9月 1日～14日 /河内小旧夏出分校体育館 平成24年 9月21日～24日 /東部地域公民館 平成24年 9月25日～29日 /西田ふれあいセンター 平成24年 9月30日～10月14日 /東部地域子育て支援センター 平成24年10月15日～28日 /河内小旧夏出分校体育館 平成24年11月 1日～9日 /日和田交流センター 平成24年11月19日～22日 /郡山ユラックス熱海 平成24年11月25日～11月29日 /大槻東地域公民館 ※他7箇所でも実施予定

4. 郡山市の原子力災害対策の体制

平成23年6月10日に災害対策本部内に「原子力災害対策プロジェクトチーム」を設置し、対策を進めてきましたが、「除染の推進」や「市民の健康管理・分析」、「損害賠償・相談対応」など、多方面にわたる「原子力災害対策」について、総合的かつ迅速に推進するため、平成23年10月11日には専任の職員を配置した「郡山市原子力災害対策直轄室」を設置しています。

また、原子力災害対策にあたり、4名の方に原子力災害対策アドバイザーを委嘱し、除染や市民の皆さんの健康管理について、それぞれ専門的な見地から多角的に助言をいただいています。

【原子力災害対策直轄室】



【原子力災害対策アドバイザー】(順不同)



おおくぼ としあき
大久保 利晃氏
財団法人放射線影響研究所
理事長



さなだ ひろお
真田 宏夫氏
国立大学法人千葉大学
名誉教授



とみた さとる
富田 悟氏
国立大学法人東京工業大学
放射線総合センター 助教



おおが かずひろ
太神 和廣氏
社団法人郡山医師会
理事